



砂川市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が一因とみられる気候変動の影響により、世界各地で記録的な高温や大雨、干ばつ等の異常気象が多発しています。日本においても、過去に経験したことがないような集中豪雨や猛暑等が頻発しており、今後さらに災害等のリスクが高まると予測されています。

2015年に採択されたパリ協定及び2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「産業革命からの気温の上昇幅を2℃未満とし、さらには1.5℃未満に抑え込むためには2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」と示されています。

このような情勢を踏まえ、2020年10月に政府は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言しました。

砂川市は、これまで公共施設照明や防犯灯、商業街路灯のLED化を計画的に実施し、市庁舎空調設備へのヒートポンプ導入、住宅用太陽光発電システムへの助成等、二酸化炭素排出量削減に向けた取り組みを実施してきました。

今後も、砂川市第7期総合計画においてめざす都市像としている「自然に笑顔があふれ明るい未来をひらくまち」の実現と、この豊かな自然環境を子どもたちや未来へ引き継ぐためにも、引き続き温暖化対策へ積極的に取り組み、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言します。

令和5年3月7日

砂川市長 善岡雅文